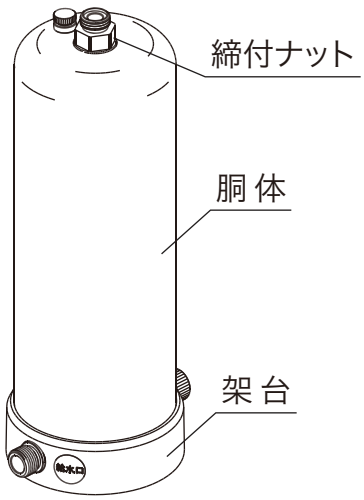
カートリッジの交換方法

PRODUCED BY ACM

231213

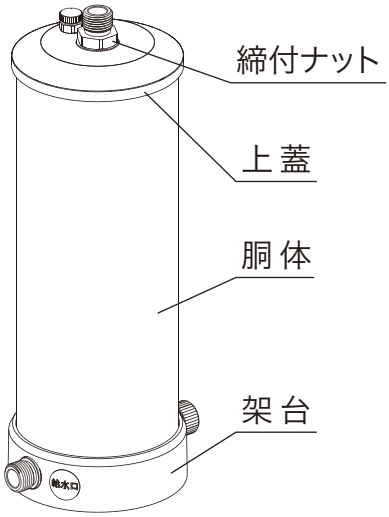
ご愛用いただきありがとうございます。
カートリッジ交換の際、お客様の浄水器のタイプを
ご確認の上、カートリッジ交換を行ってください。

402型／602型



402型/602型のカートリッジ交換方法
2ページをご覧ください。

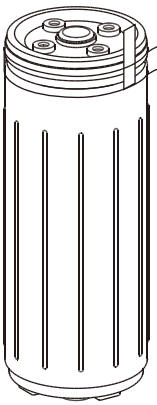
400型／600型



400型/600型のカートリッジ交換方法
6ページをご覧ください。

以下の同梱されている5点を必ず確認してください。

カートリッジ 1 本



必ずテープをはがしてください。

胴体用オーリング 2 コ

402型/602型は、胴体用オーリングを1コだけの使用になります。

平ゴムパッキン 1 コ
(オーリングホルダー用)

オーリング 1 コ
(オーリングホルダー用)

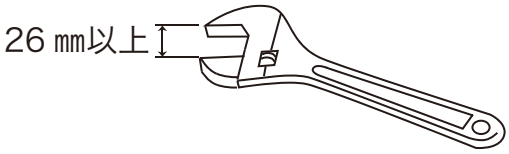
※水の検査用

⚠ ご注意 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。

残留塩素測定試薬
(1包1回分 5包入)

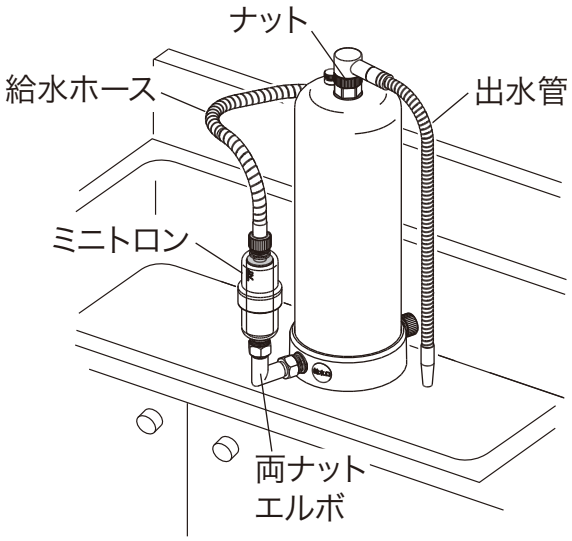
必要な工具（ご準備ください）

２６㎜以上開くモンキーレンチをご準備ください。



231213

402型/602型のカートリッジ交換方法

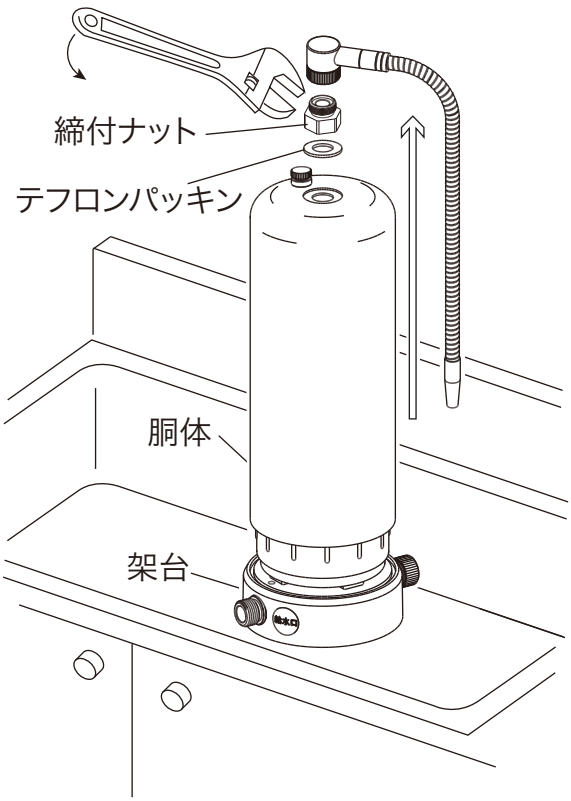


（1）水道の蛇口を閉めてください。

（2）本体を流し台のシンク内に入れてください。

※作業上、給水ホース・ミニトロン・両ナットエルボがジャマでなければ、付けたままで作業してください。

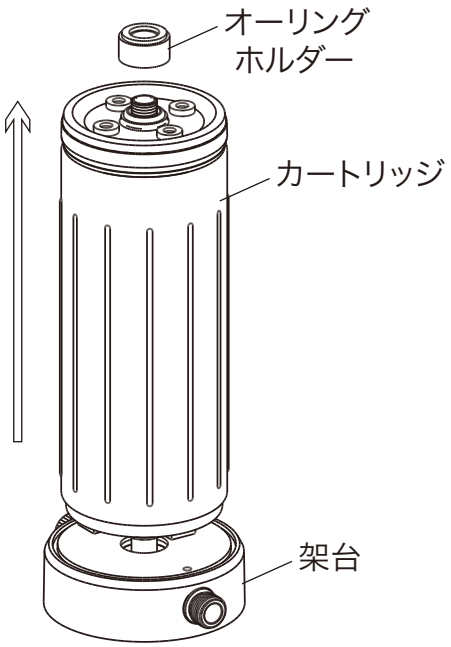
（3）出水管のナットをゆるめて、本体から外してください。



（4）本体締付ナットをレンチ等（モンキー）でゆるめて（左回し）取り外してください。

⚠ご注意 締付ナットをゆるめると、胴体と架台の間から水が出ますので作業は流し台で行ってください。

（5）胴体を上に持ち上げながら抜いてください。



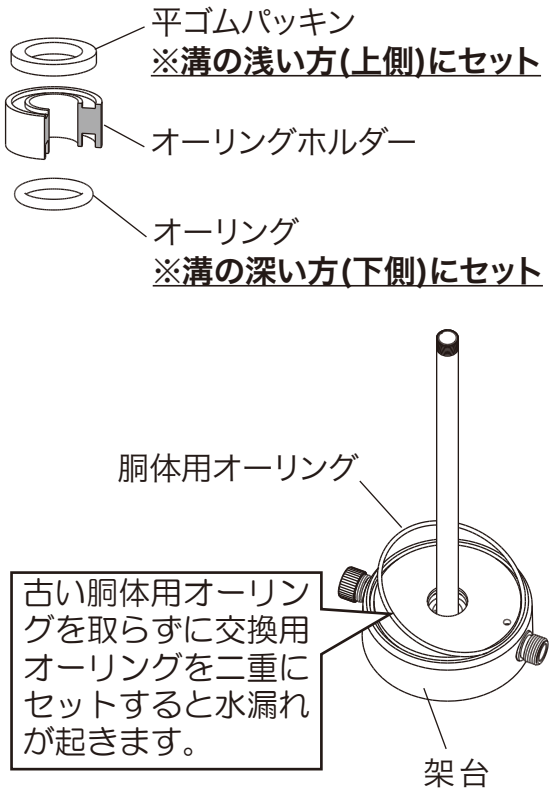
（６）オーリングホルダーを抜きます。

胴体内側にオーリングホルダーが付く場合があります。そのときは、オーリングホルダーを横にズラすようにしながら取り外してください。

（７）架台を片手で押さえながら、カートリッジを抜き取ります。その際、取り外した部品等を水洗いしてください。

このとき、切替コックのレバーを原水にして蛇口を開くと水道水が出ます。
その水で部品等を水洗いします。

> ⚠ ご注意　洗剤は、中性洗剤をご使用ください。部品劣化の恐れがあるため、その他の洗剤等のご使用は避けてください。



（８）同梱のオーリング・パッキンを交換してください。

今ついているオーリングが外しにくい場合は、先の尖ったもの（安全ピン・針など）で外します。
オーリングを外した溝の汚れ・水あかなどの汚れを水洗いで取り除いてから、同梱の新しいものをセットしてください。

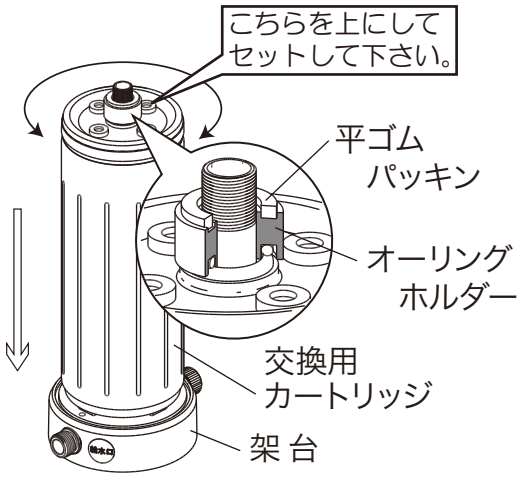
※溝にしっかりセットされているか、必ず再度、ご確認ください。

①オーリングホルダーの上下の溝にセットされている平ゴムパッキン・オーリングの２点を交換してください。

※溝の浅い方（上側）に平ゴムパッキン、溝の深い方（下側）にオーリングをセットします。

②架台溝の胴体用オーリングを交換してください。

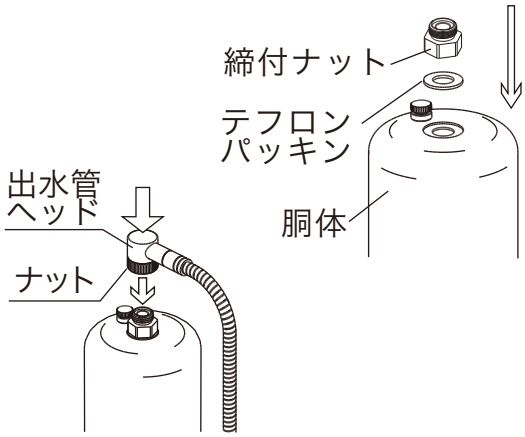
> ４０２型は架台溝の胴体用オーリング（１コ）だけの交換になります。



（９）架台に交換用カートリッジを差し込み オーリングホルダーをセットします。

※カートリッジの上下を逆にセットすると
胴体がセットできないのでご注意下さい。

このとき、カートリッジを左右に回しながら
差し込むと容易に入ります。
※オーリングホルダーは、平ゴムパッキンを
上側にしてセットしてください。



（10）胴体の上にテフロンパッキンをのせて レンチ等（モンキー）で締付ナットを 締めます。

胴体の上にテフロンパッキンをセットしてください。

締め付ける目安は、締付ナットを徐々に締め付け、胴体のガタツキが無くなってから締付ナットを一周締め付けてください。

出水管ヘッドを上から押しながら出水管を取り付けて、カートリッジの交換は完了です。

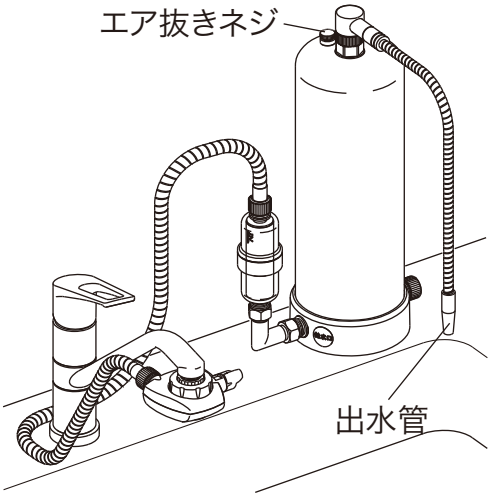
（11）使用する前にエア抜きを行います。

①蛇口に取り付けた切替コックのレバーを浄水にして、蛇口を開きます。

(注)蛇口を開けすぎるとエアが抜けた後、水が噴き出しますので、注意してください。

②エア抜きネジを左に１回転位回してください。

③エア抜き部から水が出てきたらエア抜きネジを右に回して締めてください。



（12）出水管から水が出たら、蛇口を全開にして約２分間捨て水をしてください。

(注)１　使い始めに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。その時は微粉末がでなくなるまで（５分程度）通水して下さい。

(注)２　出水管と切替コックの出水部分の水洗い(P10)を行ってください。

（13）最後に水の検査(Ｐ10)を必ず行ってください。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分してください。

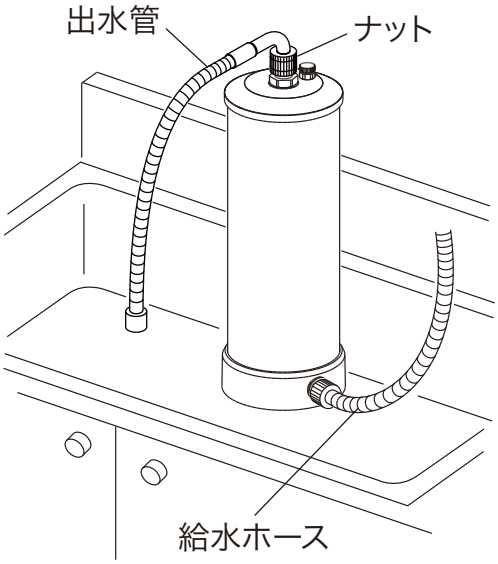
402型/602型 修理を依頼される前に確認してください

事　例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	３ページ(8)
	架台の溝に胴体がしっかり入っていますか？	胴体が架台の溝にきちんと入っていない場合、水漏れの原因となります。確認して下さい。	
胴体が締まらない。	カートリッジを上下逆に入れていませんか？	取扱説明書に従い、上下を確認してください。	４ページ(9)
	現在使用している機種と交換カートリッジの機種は、同じ名称ですか？	機種の種類によってカートリッジの大きさが異なります。使用機種とカートリッジの名称が異なる場合は、ご購入先までお問い合わせください。	
胴体の上から水漏れする	胴体上の締付ナットの下にテフロンパッキンが入っていますか？ または、破損していませんか？	交換中にテフロンパッキンを紛失された可能性があります。確認してください。また、亀裂等の破損が見られる場合には、ご購入先までお問い合わせください。	４ページ(10)
塩素反応が出る	オーリングホルダーを入れ忘れていませんか？	オーリングホルダーを入れ忘れたり、上下が逆になっていると塩素漏れの原因となります。 確認してください。	４ページ(9)
	オーリングホルダーを上下逆に入れていませんか？		
	オーリングホルダー用の平ゴムパッキン、オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると塩素漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、新しいものと交換してください。	３ページ(8)
	給水口シールの貼ってあるネジに給水ホース類が接続されていますか？	架台の給水口にミニトロンおよび給水ホースを接続しないと、浄水できません。正しく付け直してください。	
出水管から水漏れする（蛇腹部分）		長期使用での劣化によるものと思われます。新しい出水管と交換してください。	
初回に浄水器から出る水が黒い（取付時）		初水に活性炭の黒い微粉が浄水に混入することがあります。その際は黒い水が透明になるまで通水してください。	４ページ(12)（注１）

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

231213

400型/600型のカートリッジ交換方法



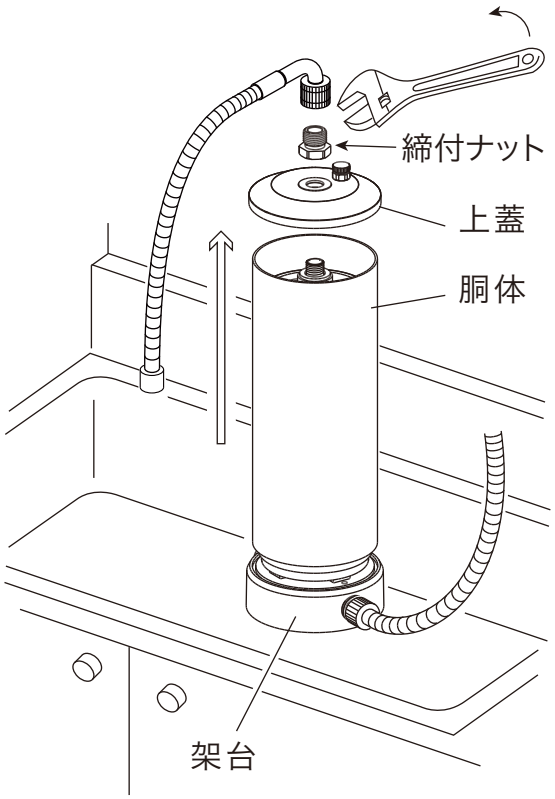
（1）水道の蛇口を閉めてください。

（2）本体を流し台のシンク内に入れてください。

※作業上、給水ホースがジャマでなければ、付けたままで作業してください。

（3）出水管のナットをゆるめて、本体から外してください。

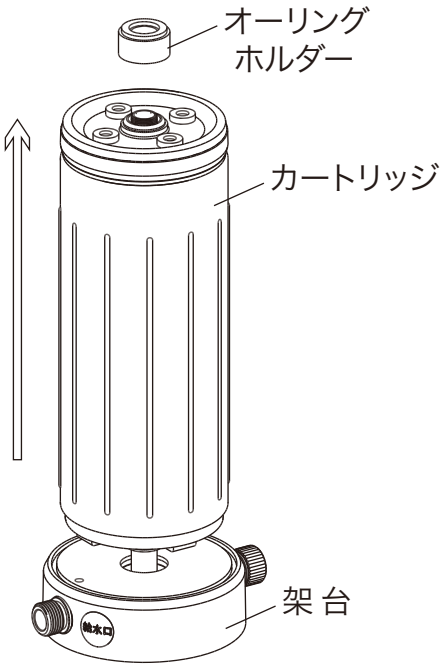
ご注意 ナットをゆるめると、出水管内の水が出ますので作業は流し台で行ってください。



（4）締付ナットをレンチ等（モンキー）でゆるめて(左回し)、上蓋を取り外してください。

ご注意 締付ナットをゆるめると、胴体と架台の間から水が出ますので作業は流し台で行ってください。

（5）胴体を上に持ち上げながら抜いてください。



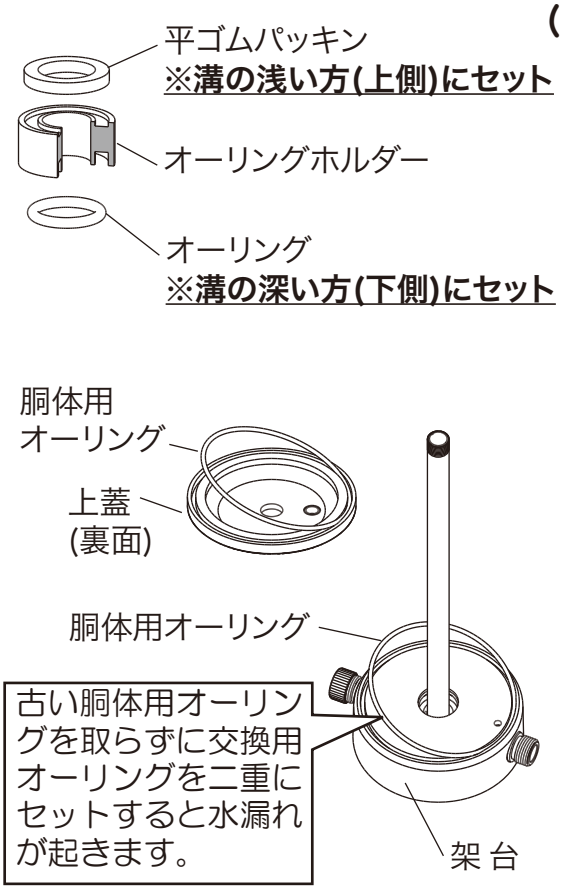
（６）オーリングホルダーを抜きます。

上蓋の内側にオーリングホルダーが付く場合があります。そのときは、オーリングホルダーを横にズラすようにしながら取り外してください。

（７）架台を片手で押さえながら、カートリッジを抜き取ります。その際、取り外した部品等を水洗いしてください。

このとき、切替コックのレバーを原水にして蛇口を開くと水道水が出ます。
その水で部品等を水洗いします。

> ⚠ ご注意　洗剤は、中性洗剤をご使用ください。部品劣化の恐れがあるため、その他の洗剤等のご使用は避けてください。



（８）同梱のオーリング・パッキンを交換してください。

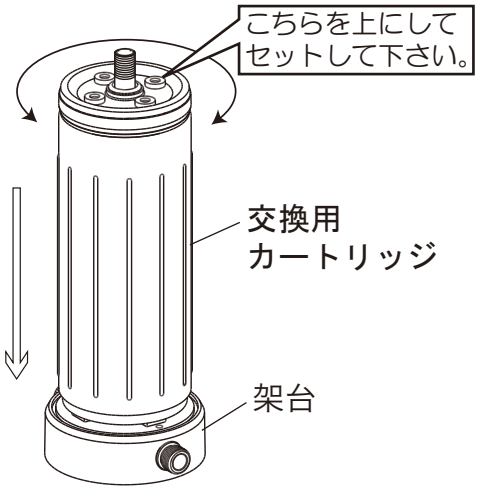
今ついているオーリングが外しにくい場合は、先の尖ったもの（安全ピン・針など）で外します。
オーリングを外した溝の汚れ・水あかなどの汚れを水洗いで取り除いてから、同梱の新しいものをセットしてください。

※溝にしっかりセットされているか、必ず再度ご確認ください。

①オーリングホルダーの上下の溝にセットされている平ゴムパッキン・オーリングの２点を交換してください。

※溝の浅い方（上側）に平ゴムパッキン、溝の深い方（下側）にオーリングをセットします。

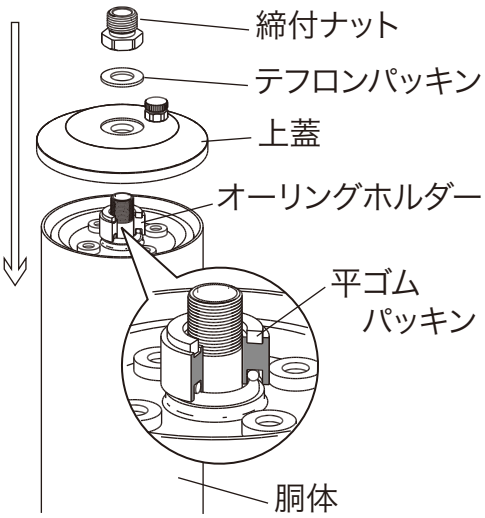
②上蓋溝（裏面）・架台溝の胴体用オーリングをそれぞれ交換してください。



（９）架台に交換用カートリッジを差し込みます。

※カートリッジの上下を逆にセットすると、上蓋がセットできないので、ご注意下さい。

このとき、カートリッジを左右に回しながら差し込むと容易に入ります。



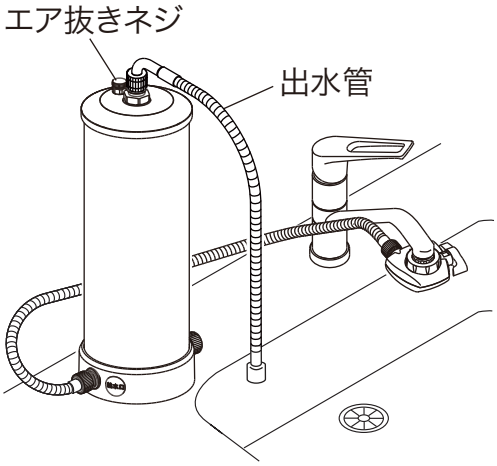
（10）胴体・オーリングホルダー・上蓋をのせてレンチ等（モンキー）で締付ナットを締めます。

オーリングホルダーは平ゴムパッキンがセットされている方を上にして差し込みます。

上蓋の上にテフロンパッキンをセットしてください。

締め付ける目安は、締付ナットを徐々に締め付け、胴体のガタツキが無くなってから締付ナットを一周締め付けてください。

出水管を取り付けて、カートリッジの交換は完了です。



（11）使用する前にエア抜きを行います。

①蛇口に取り付けた切替コックのレバーを浄水にして、蛇口を少し開けます。

（注）蛇口を開けすぎるとエアが抜けた後、水が噴き出しますので、注意してください。

②エア抜きネジを左に１回転位回してください。

③エア抜き部から水が出てきたらエア抜きネジを右に回して締めてください。

（12）出水管から水が出たら、蛇口を全開にして約２分間捨て水をしてください。

（注）１　使い始めに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。その時は、微粉末が出なくなるまで（５分程度）通水してください。

（注）２　出水管と切替コックの出水部分の水洗(P10)を行ってください。

（13）最後に水の検査(Ｐ10)を必ず行ってください。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分してください。

400型/600型 修理を依頼される前に確認してください

事　例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	7ページ(8)
	架台の溝に胴体がしっかり入っていますか？	胴体が架台の溝にきちんと入っていない場合、水漏れの原因となります。確認して下さい。	8ページ(10)
上蓋から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	7ページ(8)
	上蓋の溝に胴体がしっかり入っていますか？	新しく交換した上蓋溝の胴体用オーリングが胴体に噛み合うようにのせてから締め付けてください。	8ページ(10)
	締付ナットの下にテフロンパッキンが入っていますか？また、破損していませんか？	交換中にテフロンパッキンを紛失された可能性があります。確認してください。また、亀裂等の破損が見られる場合には、ご購入先までお問い合わせください。	8ページ(10)
塩素反応が出る	オーリングホルダーを入れ忘れていませんか？	オーリングホルダーを入れ忘れたり、上下が逆になっていると塩素漏れの原因となります。確認してください。	8ページ(10)
	オーリングホルダーを上下逆に入れていませんか？		
	オーリングホルダー用の平ゴムパッキン、オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると塩素漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、新しいものと交換してください。	7ページ(8)
	給水口シールの貼ってあるネジに給水ホースが接続されていますか？	本体の給水口以外に給水ホースを接続するとると、浄化できません。正しく付け直してください。	
出水管から水漏れする（蛇腹部分）		長期使用での劣化によるものと思われます。新しい出水管と交換してください。	
（締付ナットとの接続部分）	締付ナットとの接続部分の内側に、白黒２枚のパッキンが入っていますか？	パッキンのどちらかが破損していたり紛失されてしまった場合、水漏れの原因となります。ご購入先までお問い合わせください。	
蓋が閉まらない	カートリッジを上下逆に入れていませんか？	取扱説明書に従い、上下を確認してください。	8ページ(9)
	現在使用している機種と交換カートリッジの機種は、同じ名称ですか？	機種の種類によってカートリッジの大きさが異なります。使用機種とカートリッジの名称が異なる場合は、ご購入先までお問い合わせください。	
初回に浄水器から出る水が黒い（取付時）		初水に活性炭の黒い微粉が浄水に混入することがあります。その際には、黒い水が透明になるまで通水してください。	8ページ(12)（注１）

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

231213

水の検査

これは、浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

確認方法

１．コップに浄水後の水（約５０ｃｃ）をとります。
２．付属部品の残留塩素測定試薬を１袋加えます。
３．かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。
（判定は1分以内で行ってください。）

残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

※但し、1分以上おくと残留塩素が無い状態でも変色します。ご注意ください。

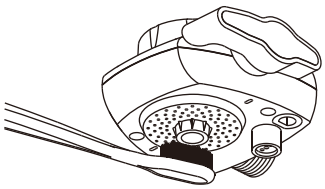
《注意》

- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管して下さい。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封して下さい。
- 試薬が変色したものはご使用にならないで下さい。
（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用下さい。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意して下さい。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流して下さい。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談下さい。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

快適にお使い頂くためのお手入れ方法です。

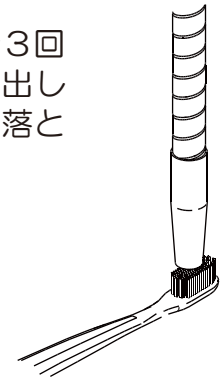
切替コック

１ヵ月に１～３回を目安に出水部分を清潔なハブラシ等を使い水を出しながら汚れを落とします。



402型／602型の出水管

１ヵ月に１～３回を目安に水を出しながら汚れを落として下さい。



400型／600型の出水管

１ヵ月に１～３回を目安に先端の泡沫栓を回して取り外し、水洗いします。

塩素が取り除かれた水が出る出水管は汚れたハブラシ等で洗うと出水口に雑菌が付着・繁殖する事があるので、清潔なハブラシ等をお使い下さい。

ご使用上の注意

（1） 流し台の下及び水道直結型にはなりません。
（2） 浄水出口には、バルブ等を一切使用しないでください。
（3） 使用水圧（動水圧）０.３５MPa以内でご使用ください。
（4） 凍りつく恐れのある場合は、ご使用できません。
（5） 井戸水等に使用される場合は、必ずご相談ください。
（6） 製氷器・湯沸かし器等には、連結しないでください。
（7） ご使用は、水(飲料水適合)だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。
（誤っての短時間の通水であれば問題ありません。）
（8） 朝、最初に使う場合は、約４５秒間捨て水をしてください。
２～３日使用されなかった場合は約２分間位捨て水をしてください。
（9） 金魚や熱帯魚には使用しないでください。
・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合魚が死んでしまう恐れがあるため。
（10） 水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗ってください。
（11） 出水管の先端および切替コックの出水部分は１ヵ月に１～３回を目安に、水洗い(P10)を行ってください。
（12） 使用水にミネラル分が多く含まれている場合、給水ホース内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物がはがれて原水に混入することでカートリッジの寿命が短くなるのを防ぐために、給水ホースは５年毎の交換（有償）を推奨します。

■製造元
株式会社 エイ・シー・エム
〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10 MYSビル3F

231213